

にこにこしんぶん 和和新聞

発行者:NPO 法人
ウォールレスジャパン
Wall Less Japan
福岡市城南区
片江1-8-9-101
電話(092)801-1588
HP: <http://wallless.jp/>

春のお彼岸

仏教では、人の迷いがある現世(=この世)を「此岸(しがん)」、煩惱を脱した悟りの境地(=あの世)を「彼岸」といいます。極楽浄土である彼岸には阿弥陀仏(あみだぶつ)が住み、先祖の霊も眠っていると考えられています。

春分の日(秋分の日)を中日(真ん中の日)として、前後各3日の合計7日間をお彼岸といいます。

春分は二十四節季のひとつで、昼と夜の長さがほぼ同じになる日です。「暑さ寒さも彼岸まで」といいますが、春分を過ぎると昼の時間が長くなり寒さも和らぐことからいいます。

この期間に仏様の供養をすることで極楽浄土へ行くことができると考えられています。

彼岸の入り(17日)には、仏壇や仏具をきれいに掃除して、花やぼた餅などを供えます。春は、牡丹の花にちなんでぼた餅、秋は萩の花にちなんでおはぎといえます。

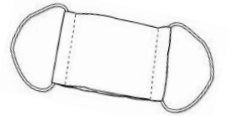


お墓参りのしきたり

彼岸の中日の春分の日には、家族でお墓参りをして先祖を供養する習慣があります。お墓参りに行くときは、御線香、ろうそく、ライターやお供物(お花やぼた餅など)と半紙や器、掃除道具などを忘れないように準備しておきましょう

1. お墓についたら、合唱礼拝してから、先ずはお墓を掃除。敷地内の落ち葉や雑草の草むしりをします。墓石は、濡れた布やスポンジで洗ってから、かわいた布で拭きます。タワシは、墓石を傷つけるので避けたほうが良いでしょう。水鉢や花立、御香立ては、こみが溜まりやすいので丁寧に洗いましょう。
2. 生花を花立に挿し、半紙や器の上にぼた餅や故人の好物などをお供えます。ろうそくに火をつけ、線香立てにお線香をお供えます。
3. 故人に縁の深い順に参拝します。両手を合わせ、先祖や故人の冥福を祈ります。お供え物は、お参りが終わったら、持ち帰るようにします。ろうそくの消し忘れや線香が燃え尽きるのを確認して帰りましょう。

福岡にも飛来「PM2.5」



PM2.5とは

直径2.5 μ m(マイクロメートル)以下の小さな粒子のことです。(スギ花粉がおよそ30 μ m) PM2.5は非常に小さい粒子のため、肺の奥深くまで入りやすく、ぜんそくなどの呼吸器系や循環器系への影響が心配されています。

PM2.5の原因は、工場から出る煙、燃料として使った石炭のかす、自動車の排気ガスなどの大気汚染物質です。これからの季節は、大陸からの西風に乗って、黄砂とともに日本各地に飛来します。飛来は10年以上前から始まっており、今年の飛来は平年並みで、ピークは3月~6月です。

福岡市もPM2.5の測定を始め、福岡市のホームページなどで情報を流しています。濃度が国の環境基準(35 μ g/m³以下)を超える場合、なるべく外出を控え、外出する際は、PM2.5を通さないマスクの着用や帰宅時のうがいをしましょう。洗濯物等はできるだけ室内に干し、外での運動を避けましょう。特に、呼吸器や循環器に疾患がある方は、注意が必要です。

ふれあいマルシェ

タイトル:「歌は世につれ 世は歌につれ」 みんなで歌いましょー

ピアノとサクスの生演奏をバックにいつもカラオケ等で歌っている歌や大好きな歌を皆さんの前で熱唱してみませんか?

講師:NPO法人MUSIC HEART 中野 賢一さん 福島 由美子さん

日時:平成25年3月9日土曜日 10時より12時まで

場所:福岡市立城南市民センター 4階 音楽室

定員:30名 参加費:無料



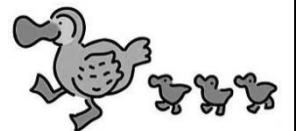
タイトル:城南区を歩こう 神社めぐり

城南区にある8つの神社を巡り、ご神木や春に咲く花々を楽しみながら、約10kmのコースをゆっくり散歩しましょう。

日時:平成25年4月7日日曜日 10時より14時まで

集合場所:福岡市立城南市民センター 前

定員:15名 参加費:100円(保険代として)



申し込み・お問い合わせ:NPO法人 ウォールレスジャパン 坂本

電話&FAX:801-1588

メール:info@wallless.jp